

くらしのまなび つうしん

くらしの学びサポートオフィス HumanBeing

代表 菅原清香

〒984-0826 宮城県仙台市若林区若林 4-1-28 C-201

TEL : 080-1811-6568

MAIL : info@officehb.net

<https://www.officehb.net/>



福祉・防災・ボランティアなどを切り口に「くらし」の学びに関する情報をお伝えしていきます！

みやぎ発防災レシピカレンダー2026 制作中！

みやぎ発防災レシピカレンダー2026 の制作が進んでいます！
2026 年カレンダーは、全国各地から 5 団体のレシピを掲載予定です。
2025 年 6 月 25 日にはレシピ考案団体どうしのオンライン顔合わせ会を開き、日頃の活動について紹介しました。
7 月 6 日には、東六郷コミュニティ・センターにて宮城学院女子大学ボランティアサークル Food and Smile! と東六郷・東部かあちゃん' ずが集まり、カレンダー掲載候補レシピの試作会を開催しました。
現在、レシピの完成に向けて各団体との打ち合わせや調整を進めています。
カレンダーは今年も 11 月に発行予定となっております。
ご予約受付開始時にはホームページや SNS でご案内いたします。
ぜひご家庭や、お仕事・ご活動先等にてご活用いただけましたら幸いです。



みやぎ発防災レシピカレンダー2025 の売上の一部を寄付いたしました

2025 年 3 月某日、宮城学院女子大学ボランティアサークル Food and Smile! と東六郷・東部かあちゃん' ずに、みやぎ発防災レシピカレンダー 2025 の売上の一部を寄付としてお届けいたしました。

ご購入いただいた皆さま、周知にご協力いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。



南三陸町にて「防災クック」が開催されました

2025 年 3 月 27 日、結の里（南三陸町）にて「防災クック」が開催されました（主催：社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会 共催：くらしの学びサポートオフィス HumanBeing）。東日本大震災の発生から 14 年以上が経過する中、南三陸町社会福祉協議会では、地域で子どもを育て・防災意識を高め合っていくことを目指して「防災共育」に取り組んでいます。

防災クック当日は小学生 14 人が参加し、管理栄養士 佐々木優花さんを講師に迎え、フライパンひとつで簡単に作ることのできる「海鮮トマトパエリア」をつくりました。パエリアを煮込んでいる間は、消防士の方から防災のお話をいただきました。パエリアが完成し、フライパンのふたを開けた時は「わあ〜！！」と歓声があがり、おいしい！と何度もおかわりをする子どももいました。

最後に参加者にはパエリアのレシピや防災クイズをお渡しし、持ち帰っていただきました。おうちで防災について語り合い、取り組むきっかけになりましたら幸いです。



みやぎ発防災ゲーム 活用レポート

HumanBeing で製作・販売しているみやぎ発防災ゲーム。今回は宮城県南三陸町と、南三陸からつながった北海道北見市でのご活用の様子を紹介します。＊ゲームの詳細・ご注文方法等はホームページをご覧ください。

東日本大震災伝承館にて「伝える」を「育てる」防災ワークショップを開催

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会

主事兼技師 芳賀裕子さん・コミュニティソーシャルワーカー 佐藤美保さん

南三陸町社会福祉協議会では2023年10月から、毎月第2木曜日の10時～12時、南三陸町東日本大震災伝承館 南三陸311メモリアルにて「防災ワークショップ」を開催しています。

きっかけは南三陸311メモリアルを管理・運営する南三陸町観光協会から「南三陸311メモリアルに、地元の方にも足を運んでいただくために何かアイディアはないだろうか」と相談をいただいたことでした。開催日は南三陸311メモリアルホームページや町の広報などでお知らせしています。

ワークショップは足を止めてくださった方がいたら随時スタート。主に「防災すごろく 助け合ってご～！」の〇×クイズを実施しています。クイズに答えながら、ご自身の防災への取り組みなどを紹介してくださる方も。問題の内容が身近なので知識の再確認になりますし、クイズ形式&短時間でできるので子どもから高齢者まで誰でも楽しみながら取り組めて、参加してくださった方の防災意識の向上につながっていると感じています。

南三陸町に初めて来られた方、復興支援で何度も足を運んでくださっている方…南三陸311メモリアルを訪れたきっかけは皆さん様々で、交流の機会にもなっています。海外から来られた方と翻訳アプリを使いながらワークショップを実施したり、社会福祉協議会に職場体験に来られていた高校生が自分で考えたクイズを出題したこともありました。

2025年度からは、町民ボランティアと一緒にワークショップを行っています。東日本大震災の語り部の活動をされている方で、クイズの内容に、ご自身の経験も重ねて語ってくださっています。南三陸町の皆さんと、ともに防災について考え・取り組んでいくことを、これからも地道に続けていきたいです。



外国籍住民のための暮らしの安心安全ワークショップを開催

公益財団法人東亜総研 檜崎寿子さん・NGUYEN THI THUY LINH (グエン ティ トウイ リン) さん

公益財団法人東亜総研の北見事務所(北海道)では、ベトナムからの技能実習生の管理団体業務を行っています。技能実習生が日本で生活していく上でのサポートを行ったり、交流イベントを開催したりしています。

技能実習生を対象に開催した今回のワークショップは初めて実施しました。企画を検討する中で、話を聞くだけになるより体験型のブースもあると良いのでは・ゲームを取り入れることで参加者どうしの交流にもなるのでは…という話になりました。その際、以前南三陸町観光協会に勤めていた時に知ったみやぎ発防災ゲームを思い出し(檜崎さん)、「持ち出し品ゲーム これ持ってぐ～！」をブースの1つで実施することになりました。

ワークショップは2024年12月に開催。27人の技能実習生がグループに分かれて、交通安全・防災・防災ゲーム・防犯・座談会の5つのブースをまわりました。持ち出し品ゲームのカードには漢字に読みがながふってあるので参加者も読みやすく、初対面同士でもゲームを通して助け合う様子もありました。特にネコのキャラクターが人気で、登場した時にはとても盛り上がりしていました。

ゲームの後は、避難所はどこ？何を持っていく？など問いかけていきました。「ベトナムは災害が少ない」という意識の方が多く、日本は地震が多いため、ベトナムの家族も心配していると聞きます。また技能実習生は家と勤務先を往復する毎日のため、地域との関わりが少ないという現状もあります。今回はゲームを通して、災害が起こったらどうすれば良いかを考えるために、良いきっかけを作ることができました。これからもワークショップを開催していき、技能実習生の北見市での暮らしを支えていきたいです。

